

事務事業名		埋蔵文化財調査事業			会計	一般会計			
H27担当課等名		生涯学習・スポーツ課		H27係等名	文化財保護係		H26係等名	文化財保護係	
基本計画上の位置づけ		政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり					
		施策	61	地域資源の発見・資産化					
目的	対象(誰・何を)	埋蔵文化財包蔵地			対象指標	指標名及び単位			26年度数値
	意図(どうい状態にするか)	国・県・市及び民間事業者等の土木工事等において、十分な保護措置を講ずる				飯田市の埋蔵文化財包蔵地数〔遺跡、古墳、城跡等、寺院跡、居館跡、窯跡、その他〕(数)			1216
	向上させたい上位施策の成果指標	①活用できる状態が整った地域資産の数							
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	記録保存された埋蔵文化財包蔵地(単年度:数)			18	9	13	20	
	定性目標								
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護法に基づいて国民の財産である埋蔵文化財を保護する目的で諸開発に伴い、試掘・発掘・整理を実施する。 国・県で計画されている公共事業については年1回、市長部局等で計画されている公共事業については年2回事業照会を行い、計画の内容や保護措置について協議を行う。 簡易圃場整備および個人住宅建設に伴う調査等については国庫補助制度があり、補助対象となるものについて交付申請をし、交付決定されたものについて事業を行う。 発掘調査を実施した遺跡については、その成果を見学会等により市民に還元し、併せて文化財の保護に対する市民理解を涵養する。 これまで蓄積された埋蔵文化財情報を基に、市内遺跡の遺跡分布範囲の見直しを行う。 								
事業内容					名称		活動指標		
26年度事業内容	1 文化財保護法に基づく届出の受理と事前審査				1 届出件数		1 210件		
	2 簡易圃場整備および個人住宅建設に先立つ調査 北方西の原遺跡発掘				2 調査件数		2 1件		
	3 県事業に伴う調査 上山遺跡群、龍源寺跡、上山遺跡群、磐座、飯田城跡(桜丸)、北方西の原遺跡、谷川窯跡				3 調査件数		3 7件		
	4 市事業・民間開発に伴う調査 飯田城下町遺跡(庁舎)、飯田城下町(春草公園)、清水上遺跡、化石遺跡、別府中島遺跡、大休下遺跡				4 調査件数		4 6件		
	5 市内遺跡の遺跡分布範囲の見直し(遺跡範囲のデータ化と『飯田の遺跡』改訂版の刊行)				5 データ化した地区		5 9地区		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		53,612	38,320	38,166	32,872	(国)文化財保護補助金(埋文発掘)(1/2)			
国庫支出金		2,950	2,950	2,950	2,212	(県)文化財保護委託金(埋文発掘)			
県支出金		7,959	6,904	6,904	950	(そ)埋蔵文化財調査受託事業収入			
起債									
その他		35,727	21,147	21,141	22,791				
一般財源		6,976	7,319	7,171	6,919				
人件費計(千円)②		16,450		17,880					
正規職員所要時間		4,600		5,000					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		70,062	38,320	56,046	32,872				
事業内容・目標達成状況の振り返り	平成25年度に完了した7地区を含め、全市域の埋蔵文化財包蔵地の調査・見直し作業が全て完了し、この成果となる改定版の包蔵地地図の刊行と電子データ化ができた。埋蔵文化財包蔵地での保護措置については、事業主体の協力を得て概ね適正に実施することができた。								
改革改善の考え方	①問題点	地図改定により埋蔵文化財包蔵地であるか否かを確認するための情報整備は進んだが、埋蔵文化財をより確実に保護していくためには、埋蔵文化財の存在と価値、保護措置の必要性を、さらに周知していく必要がある。							
	②改革提案	埋蔵文化財包蔵地の存在と価値、保護措置の必要性を周知するため、広く市民に向けた広報や、事業関係団体等への説明・情報発信を行う。埋蔵文化財包蔵地地図データの公開機能の充実について調査・研究を行う。							